

FFG ビジネス
コンサルティングの

釣道

ちょっと
つりみち

[離島・黎明編]



2



3



1

①朝焼けの光彩に包まれる筆者 ②太かカマスをゲット ③空の色と同じ色のネンプツダイは釣れて少し残念(笑)

本日釣道は離島にてカマスを釣る

「黎明」。壮麗な色彩の朝焼けの光の中に包まれた時に、頭に浮かぶその美しい言葉は、筆者の好きな言葉のひとつで、夜明という意味のほか無から物事が始まりゆく様を表します。

四半世紀ほど前に、国内でヒットホップの草分けのプロデューサー達が実験的に発表した曲がありました。当時ラジオなどで頻繁に流れていたその曲は、サンプリングされたフュージョンの名曲の印象的なギターリフがやたら耳に残る曲でした。

最近、玄界灘に浮かぶ離島の振興に絡み、弊社も様々なご相談を受けます。離島では、夜が明けると周りが見渡す限りの水平線。ここでは天空を覆い尽さんばかりの圧倒的な色彩が迫る朝焼けを目にすることが度々あります。フィリピンの火山の大噴火以降、世界中の朝焼け・夕焼けの空の色がかわったと言いますが、目にした時「黎明」という言葉と、その曲のフレーズが脳裏に浮かぶのです。その曲は一時期巷に流れていたに過ぎませんが、ポップソ

グの変革期に、新しい海釣りのジャンルが始まりそうな予感を胸に試行錯誤を繰り返してた頃と重なっていました。その頃から朝焼けの空の色は変わってきているのかも知れません。

そんなことをふと考えた刹那、水面で何かが跳ねる音を聞いて筆者はハッと我に帰ります。思い出したように、小魚を模したミノと呼ばれる小さなルアー(疑似餌)を投げるとあっさり40cmを越える太いかマスが釣れてくれました。思わず呟きます。「太か!面白か!」

極彩色の朝焼けが初夏の白々した日差しに変わる頃、私は願います。変わるべきものは変わり、移り行くものは移り行く。それでも鳥々のこのゆったりとしたやさしい時間や、この魚たちとそれを育む碧く輝く澄んだ海はいつまでもずっと変わって欲しくないと。そして「黎明」。その明澄な語感、艶やかな光彩の情景と、新しく生み出されるであろう素晴らしいなにかを、いつも予感させてくれます。